

<p>学習の友</p>	<p>学 習 会 にゅーす</p>	<p>静岡県労働者学習 協会静岡支部発行</p> <p>2023年9月9日 No.132</p>
-------------	-----------------------	--



# 維新の票かすめ取り手法

を吟味・明らかにし公共の利益を守ろう!

今回は9月号です。特集「いまこそ、地域労働運動を強く大きく」の記事「維新の会の教育政策を『公共』の観点から考える」(長澤高明立命館大学非常勤講師)他2つの記事を読合せしました。維新の会が一定の支持を得ていることについて、筆者は「…維新は『改革』を…実感してもらえるように『見える化』することに成功し、地方議員を着々と増やしてきた」。「支持するにはそれなりの理由があるものへと変わってきている」と指摘します。そこで、大阪府での教育政策を例に支持取る付けの手法を説明します。維新は「私立高校の授業料を無償化し」と言ってきました。しかし、これは一部の世帯について、国の就学支援金引上げを受け、「標準授業料60万円」との差額を府が補助するというものですが、この補助金を直接世帯に支給する「見える化」をしたため、『「維新はすごい」と指示につながり、他県の人にとっても絶大なアピール効果を発揮することとなったと云います。しかし、私学助成は全国46番目。不足分は学校が入学金引上げ・寄付金で補えとの考えです。また公立高校を統廃合し、生徒を私立に誘導します。次に大阪市の教育政策にもふれます。「中学生の5割程度を対象に月額1万円を上限とする『習い事・塾代クーポン助成』制度をつくり、小学生5年まで拡大しました。また、「学校給食費無償化」は、長年共産党が主張してきたものを維新が拒絶してきた制度。これを実施後は独自の政策のように主張しています。「維新の『公共(公益)を私益に結びつける』手法を吟味し、

次回学習会は次のとおりです。10月号を持って

お気軽にご参加ください。

日時 10月13日(金) 18:30~

場所 国労小会議室

(注)第2金曜日です。お間違えのないように。



おかしい点を報せ、「公共を取り戻し、公共の内実をより豊かなものにしてい」と訴えます。

討論では次のような意見がありました。「全国的にも維新は増えているね。」  
「支持を獲得するのは確かに上手だ。」「(大阪では)33市のうち14市が維新の市長とは、自公から鞍替えしたのもあったようだ。」「授業料は無料になったがその他の負担はある。そこの住んでいる人は、前から較べて負担が小さいならわかるがどうなんだ。」「他の県は、無償化はどうなんだ。」「経常費補助金の削減もどれだけ削減されたのかな。」「元は自民党の議員が維新になったのだよね。」「質の悪い保守だね。」「見える化で、ありがたいと思ってしまう。だけど他のところで取られているけどね。」「敬老パスなど前からあったものを攻撃して、子育て負担の解消をといた、分断の主張は一定効いていくよね。」「維新の候補者なんかは塾に関係した人が結構いるかも。」など、票をかすめ取る維新の謀り事に驚いたり、寒心したりでした。